

学校再開にあたっての校長講話

校長 佐藤 浩

11月20日から始まった、新型コロナウイルス陽性者判明にともなう臨時休業は昨日をもって終了し、本日から学校の教育活動が再開します。

陽性者が判明した11月19日には、PCR検査対象者の特定を行い、11月20日からPCR検査が開始されました。保健所から、検査対象者の居住地に応じた検査場所を指定されたため、PCR検査が長期間に及び、最終結果が判明したのは昨日でした。臨時休業の最終日である昨日に1名の陽性者が増え、白石高校で陽性者6名のクラスターが発生したと報道されたことで、本日から学校再開に不安を感じた皆さんは少なくなかったことと思います。昨日の段階で、必要な検査は終了し、これ以上感染拡大の恐れがないと保健所が判断したことから、教育委員会より臨時休業は昨日で終了との決定がなされ、本日の学校再開を迎えました。

学校再開にあたり、不安を持たれている方は、所定のアンケートに心配事を記入したり、先生方に直接相談していただいても結構です。心配事を一人で抱え込まないようにしてください。

学校としては、この臨時休業期間中に、消毒の専門業者に委託して11月21日～22日にかけて入念に消毒作業を行いました。また、昨日は仙南保健所より保健指導を受け、感染防止対策について専門的な見地からアドバイスをいただき、本日までの消毒液の設置数を増やすなど、感染防止対策を強化しました。

臨時休業期間中には、外部の皆さんから「本校生のマスク着用が徹底されていないので、着用の徹底をお願いしたい」と強い要望が複数入りました。また臨時休業直後に校内を巡回したときに、各教室に設置されている消毒液が空になったままのクラスが複数ありました。消毒液の補填を誰がやるのか、という責任を問う以前に、手指の消毒そのものを行う人が少なくなっていたのでは、と危機感を覚えました。もしかすると生徒の皆さんの中に、感染防止に関する意識が低下している人が増えていたのかもしれない。

本日の学校再開を機に、全校の生徒・職員が感染防止に対する意識を数段階アップさせ、同じような臨時休業が起これないようにしなければならぬと考えております。生徒の皆さんにも、「マスクを正しく着用する」「消毒を徹底する」「食事をする際はグループなどにはならず、食事時の会話は行わない」といった感染防止のための行動を徹底し、感染防止に関する高い意識をもって学校生活を送っていただきたいと思っております。

また今回の陽性者判明に関連して、SNS等で誹謗中傷や個人情報等が根拠のないまま流されているとの話も聞きます。根拠のない噂を流し、個人を攻撃することはあってはならないことですし、どのような状況であれ、風説を流布することや誹謗中傷は犯罪行為に見なされる場合があります。そのような書き込みやリツイートをしてしまっているのであれば、すぐに削除をお願いします。

新型コロナウイルスは、高校生などの若年層の場合に症状が極めて軽い、また無症状の人がいるようです。自分の健康状態にはこれまで以上に注意していただき、小さな異変を見逃さず、何か異変を感じたら、かかりつけの医師やコールセンターへの相談をお願いします。

新型コロナウイルスは、非常に感染力の高いウイルスです。自分は感染しないと考えるなど、他人事と考えず、いつ感染してもおかしくないといった危機意識を持ってください。

また、同居されている家族の方がPCR検査対象になった場合は、すぐに学校に連絡をお願いします。

今日から学校が再開し、来週からは定期考査になります。そして3年次は進路決定に向けていよいよ大詰めの時期です。再びこのような臨時休業にならないように、皆さん一人一人に感染防止に対する意識を改めて持たいただき、学校全体でこのコロナ禍を乗り越え、学校生活を充実させていきましょう。